

2014 年 2 月 5 日
マツダ株式会社

2014 年 3 月期第 3 四半期決算発表
主な質疑応答

1. **通期見通しを上方修正し、過去最高益を達成予定だが、その評価を聞きたい。**
 - A. 構造改革を着実に進めてきた結果と考えています。SKYACTIV 搭載車両による台数、収益成長が実現できています。新型 Mazda3/アクセラを、Mazda6/アテンザ、CX-5 と同様に確実に成功に導いていきたい。今後も SKYACTIV 搭載車両をさらに導入・展開していくが、足元の業績に緩むことなく、今後も構造改革をぶれなく進めていく。

2. **新型 Mazda3/アクセラの販売、導入状況は。**
 - A. 日本、北米、欧州、オーストラリアなどの主要市場に導入済みで、販売は順調です。日本では、発売後 2 ヶ月経過時点で、約 2 万 1 千台の受注を獲得しました。米国では、1 月から広告宣伝活動を本格化しており、今後販売増加を見込んでいます。旧型 Mazda3 の売切りも順調に進捗しています。今後は、タイや中国へも導入を予定しています。

3. **4 期ぶりの復配を発表したが、来期はどのレベルの増配が期待できるのか。**
 - A. 復配を決断した理由は、事業環境の改善を背景に業績の上方修正を実施し、繰越利益剰余金の黒字が見込める状態になったためです。今後は安定的な配当の実現と着実な向上に努めていきます。

以上